

2025年3月14日

株式会社ACSL

ACSL、茨城県境町と包括連携協定を締結

- ACSLは、茨城県境町と包括連携協定を締結
- ACSLは昨年より同町の施設にて研究開発・生産活動を行っており、本協定に基づき地域課題の解決に向けた活動にさらに積極的に取り組んでいく
- ドローン物流や下水道点検、災害対応など、ドローンを活用した具体的な取り組みを検討

株式会社ACSL（本社：東京都江戸川区、代表取締役 CEO：鷺谷聡之、以下、ACSL）は、2025年3月24日に、茨城県境町と包括連携協定（以下、本協定）の締結を予定しておりますので、お知らせいたします。本協定に基づき、ドローンを活用した人手不足の業務の代替や災害対応、地方創生など、地域の課題解決および活性化に向けて支援を行ってまいります。

■本協定の取り組み

境町とACSLは、本協定に基づき以下の具体的な取り組みを検討しております。

- ① 継続的なドローン物流の構築
- ② ドローンによる防犯・見守りの実証実験の実施
- ③ 下水管のドローンによる調査、新機種の開発
- ④ 子供達への最先端教育
- ⑤ 災害時のドローン活用
- ⑥ 企業誘致・移転の推進、移住定住への協力、2拠点居住の協力、地方創生等
- ⑦ ドローン製造
- ⑧ その他

境町は全国に先駆けて自動運転バスの導入を進めるなど、様々な分野において先進的な取り組みを行っている自治体です。ACSLは、2024年5月より「境町ドローンラボ・ドローンフィールド」の指定管理者として、同町での研究開発および生産活動を行ってまいりました^{※1}。また、2025年3月には同町にてドローンを用いた下水道点検を実施しており、今後も範囲を広げて点検業務を実施予定です^{※2}。これらに加えて、今後は上記の通り新たな実証実験の実施や子供向けドローン教育など活動の幅を広げ、地域の課題解決および活性化に、より積極的に貢献してまいります。

また、本協定に基づく連携に関連し、町内事業者及び関連する事業者との間で、今後の資本提携に関する協議を開始することに合意いたしました。現時点で提携内容に関する具体的な内容は確定しておらず、今後、詳細を検討してまいります。

ACSLは、「技術を通じて人々をもっと大切なことへ」のミッションのもと、人手不足や災害リスクなど地域が抱える社会課題の解決に向けて、ドローン技術の社会実装に取り組んでまいります。

- ※1 [境町ドローンラボ・ドローンフィールドの落成式の開催](#)
- ※2 [A C S L、茨城県境町・つくばみらい市で閉鎖環境点検ドローン Air Slider® Fi4 を使用した下水道点検を実施](#)

【株式会社A C S Lについて】 <https://www.acsl.co.jp/>

A C S L は、産業分野における既存業務の省人化・無人化を実現すべく、国産の産業用ドローンの開発を行っており、特に、画像処理・AI のエッジコンピューティング技術を搭載した最先端の自律制御技術と、同技術が搭載された産業用ドローンを提供しています。既にインフラ点検や郵便・物流、防災などの様々な分野で採用されています。

【このニュースリリースへのメディアからのお問い合わせ】

株式会社A C S L 広報担当 (Tel : 03-6456-0931 Email : pr@acsl.co.jp)

以 上